

seca 645

EMR ready デジタル ハンドレールスケール (検定付) (Ⅲ)

EMR - integrated



- 大きなプラットフォームと
握りやすい手すり
で高齢者などいかなる患者
の計測も安全にサポート
します
- 300 kgまで量れる大きな
最大計量
- BMI機能付き

seca 645:

最大限の安全性をご提供

ハンドレールスケールseca 645は高齢患者や足などに障害をもっている患者、体の大きな患者を測定することに対するすべての要求を満たしている体重計です。病院をはじめ、リハビリテーション施設、老人介護施設、透析センターなどさまざまな医療施設で使用していただくことができます。



大きく掴みやすい手すりが計測時に患者を最大限サポートします

seca 645の大きくそして掴まりやすい手すりは体重測定時に最大限の安定性と安全性を患者に提供します。これにより看護する者のストレスを取り除き患者のケアに集中できるようにします。

広く大きなプラットフォーム

滑り止めの付いた高さわずか55 mmの大きく広い計量台は体重計への乗り降りを簡単にします。プリセット風袋機能で椅子などの重量をあらかじめ登録し差し引くことにより高齢者が椅子に座ったまま体重を測定することもできます。

大きな最大計量にBMI機能

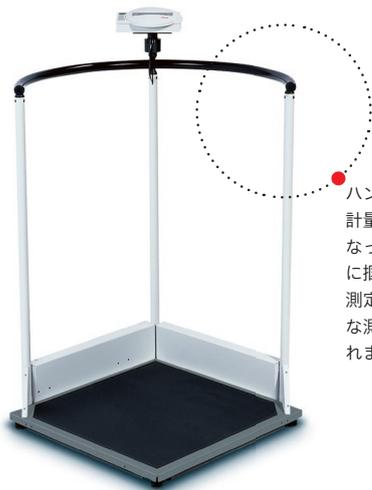
最大計量が300 kgと非常に大きく肥満患者なども計測可能です。オプションのメジャーロッドseca 223を取り付けることにより体重と身長を同時に計測することができます。またそれらのデータを基に世界保健機関の定める評価基準のBMI指数（肥満度指数）を表示することができます。

持ち運びも簡単そして充電バッテリーでも使用可能

体重計の持ち運びをサポートするキャスター付きでACアダプターだけでなく充電バッテリーでも使用可能なため施設内を自由に移動し使用することができます。

seca電子カルテ連動ソリューション：仕事の流れを改善する方法

seca 645は病院の電子カルテシステムにネットワークを介して測定値を統合できます。seca 452を介して測定値は電子カルテへ直接送信され、即座に全てのユーザー端末で確認可能となります。外付けのバーコードスキャナーを取り付けることにより、患者と利用者双方を確認ことができ、測定結果は常に正確に登録されます。これにより時間を節約し、プロセスの信頼性を向上し、通信エラーを排除します。（別途費用）seca電子カルテ連動ソリューションに関するお問い合わせはこちらへ：info@seca.co.jp



ハンドレールも計量器の一部となっているために掴まりながら測定しても正確な測定値が得られます。



ディスプレイはあらゆる角度に向けることができます。



別売オプションのメジャーロッドを取り付けることにより一度に身長と体重の測定ができるようになります。

seca 645

テクニカルデータ

- 最大計量: 300 kg
- 最小表示: 200kgまで100g、200kg以上200g
- サイズ (WxHxD): 640 x 1,150 x 660 mm
- 計量台サイズ (WxHxD): 600 x 55 x 600 mm
- 重量: 25.4 kg
- 電源: ACアダプター、充電式バッテリー
- 機能: 風袋引き機能、プリセット風袋機能、ホールド機能、オートホールド機能、BMI機能、オートクリア機能、オートレンジ機能、ダンピング機能、自動電源オフ機能、送信機能
- 別売オプション: メジャーロッドseca 223
- 精度等級: 3級

システム連携：すべての電子カルテシステム (EMR) そしてsecaのEMR ready製品と連動可能です。ただし、EMRとの連動については別途費用が必要となります。詳細についてはお気軽にお問い合わせください。